

当社初の電気制御方式のクローラーローダー 新製品『TL11R3』販売開始のお知らせ

小型建設機械を開発・製造・販売する株式会社竹内製作所（本社/長野県埴科郡坂城町、代表取締役社長/竹内敏也）は、当社製品としては、初めて「電気制御方式」を採用したクローラーローダーの新製品「TL11R3」を2026年7月から販売開始しますので、お知らせいたします。

当社が提供する建設機械は、衣食住の「住」に深く関わり、街づくりとそのメンテナンスに欠くことのできない製品として、毎日の暮らしを支えています。なかでも当社製品は、そのパワーのみならず、優れた耐久性と安定性、なめらかで直感的な操作性、長時間でも疲れにくい快適性や居住性、アフターメンテナンスのしやすさ等を強みとして、お客様の信認を得ております。

この度の新製品「TL11R3」は、当社のクローラーローダーとして初めて「電気制御方式」を採用したモデルです。アーム、バケット、走行制御において高い応答性と精密な操作性を実現し、オペレーターの意図に応じた滑らかな動きを可能にしました。油圧パイロット方式で培ってきた当社らしい操作感を引き継ぎながら、電気制御ならではの機能拡張性を取り入れております。

主な特長

TL11R3は、78.8 kWのエンジンを搭載し、運転質量5,285 kg、定格積載量1,240 kgの機体に、ラジアルリフトブームを採用したモデルです。土工、整地、積込みといった作業に適しており、現場で求められるパワーと安定性を両立しています。

また、タッチスクリーンディスプレイに機械情報や各種設定を集約し、リアビューカメラ、Bluetoothラジオ、空調操作を統合することで、操作性と快適性を高めています。エアサスペンションシートや270度カメラをオプション設定しており、長時間作業における負担軽減や周囲の安全確認のしやすさを向上させています。メンテナンス性にも配慮し、アクセス性の高い構造により、日常点検や整備のしやすさを高めました。耐久性と整備性の両面から、長く安心してご使用いただける機械を目指しております。

1. 電気制御方式を採用したことで実現した機能

(1) レバーパターン&レバー感度の設定変更機能

運転席に設置されたタッチスクリーンディスプレイで簡単に変更することができます。左右のレバーの役割を変更したり、どれだけレバーを倒せば、どれだけ建設機械が動くかの微調整を行ったりすることが可能です。



(2) 自動コントロール機能

① Return-to-Set-Position（掘削回歸機能）

掘削作業中にオペレーターが設定したアームとバケットの位置（掘削姿勢）を記憶します。一度記憶した掘削姿勢には、簡単な操作一つで自動的に回歸することが可能です。同じ作業を繰り返すときに有効な機能です。

② Self-Level Up & Down (バケット水平維持機能)

アームの上下操作に連動し、バケットの水平状態を自動で維持します。これにより積載物の荷こぼれを極限まで抑制できます。

③ Arm Height Limit (アーム高さ制限機能)

オペレーターが任意のアーム位置を上限として設定することで、アームの上限範囲を自動的に制限します。

2. 遠隔操作や自動化との高い親和性

この度の TL11R3 は、当社にとって電気制御方式を初めて採用したクローラーローダーであり、これまで培ってきた当社製品の信頼性と新たな制御技術を融合させたモデルです。油圧パイロット方式で培ってきた当社らしい操作感の再現に配慮しながらも、より高い精度と拡張性を実現し、変化する現場ニーズに応える製品として開発いたしました。

近年、建設現場では人手不足やオペレーター不足への対応が重要な課題となっています。こうした背景の中で、遠隔操作や自動化技術への期待も高まっております。電気制御方式は、こうした将来の技術展開との親和性にも優れており、今後の建設現場における新しい可能性を広げるものと考えております。

当社は今後も、電気制御方式を採用した製品開発を推進し、建設現場における生産性向上と安全性確保に貢献してまいります。

TL11R3



お問い合わせ先

株式会社竹内製作所 経営管理部 阪井 大志

〒389-0605 長野県埴科郡坂城町上平 205 | TEL 0268-81-1200 | FAX 0268-81-1127